



平成 18 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ン ア ー ト ニ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 喜 多 伸 夫
(コ ー ド 番 号 3 7 4 4 東 証 マ ー ジ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 三 小 田 良 次
(T E L . 0 3 - 5 2 9 8 - 2 8 5 5)

平成 18 年 12 月 期 中 間 並 び に 通 期 業 績 予 想 の 修 正 及 び
単 独 決 算 か ら 連 結 決 算 へ の 変 更 に 伴 う 平 成 18 年 12 月 期 連 結 業 績 予 想 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 2 月 2 日 付 当 社 「 平 成 18 年 12 月 期 決 算 短 信 (非 連 結) 」 に
お いて 発 表 いた した 平 成 18 年 12 月 期 中 間 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 平 成 18 年 6 月 30 日) 並 び に 平 成
18 年 12 月 期 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 平 成 18 年 12 月 31 日) の 業 績 予 想 の 修 正 及 び 、 単 独 決 算 か ら 連 結
決 算 へ の 変 更 に 伴 う 平 成 18 年 12 月 期 連 結 業 績 予 想 に つ い て 下 記 の と お り お 知 ら せ いた します。

記

1. 平成 18 年 12 月 期 中 間 期 単 独 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 18 年 1 月 1 日 ~ 平 成 18 年 6 月 30 日)

(1) 平成 18 年 12 月 期 中 間 単 独 業 績 予 想 の 修 正

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,460	120	65
今 回 修 正 予 想 (B)	2,375	47	△31
増 減 額 (B - A)	△84	△72	△96
増 減 率 (%)	△3.4%	△60.8%	△149.1%
(ご 参 考) 前 年 同 期 実 績 (平 成 17 年 12 月 期 中 間 期)	1,994	178	186

(2) 修正の理由

〈売上高〉

国内の 2005 年度サーバー用 LinuxOS サポートサービス市場調査(矢野経済研究所調べ)において、当社は売上高シェア第 1 位を獲得致しました。また、同調査での 2006 年から 2008 年までの LinuxOS サポートサービス市場(売上高ベース)伸長率は、年平均約 25%の見通しとなっております。当社は、Linux 関連事業で市場成長以上の売上伸長を目指し、当中間期に買収完了しました米国 SteelEye Technology, Inc. の製品である LifeKeeper の拡販や、Red Hat Enterprise Linux の販売強化、Linux SI ビジネスの拡大等に努めて参りました。その結果、当中間期の Linux 関連事業の売上高は、1,830 百万円(対前年同期比 21.1%増)の見通しです。一方 Java 関連事業は、当中間期で対前年同期比 3.7%増の売上高の達成を目指し、従来のビジネスに加え、SFA+等の当社開発ソフトウェア製品の売上伸長やブログ開発等の新規 SI ビジネスの開拓等に取り組んで参りました。結果として当中間期の Java 関連事業の売上高は、544 百万円(対前年同期比

12.1%増)となる見通しで、堅調に推移しています。Linux、Java 両事業を合計した当社売上高は、2,375 百万円(対前年同期比 19.1%増)となり、前回発表予想を 3.4%下回る見通しです。

<経常利益>

当期は、高い売上伸長目標を達成するため、技術と営業の増員を進めました。そのため、営業増員による人件費増、技術者による販売支援費等の増加により、販売費及び一般管理費が対前年同期比 45.4%増加 653 百万円、結果として経常利益は 47 百万円(対前年同期比 73.7%減)となる見通しです。

<中間純利益>

繰延税金資産の取り崩しにより、31 百万円の損失となる見通しです。

2. 平成 18 年 12 月期通期単独業績予想の修正(平成 18 年1月1日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1)平成 18 年 12 月期通期単独業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,430	300	125
今回修正予想(B)	4,800	57	△92
増減額(B-A)	△630	△242	△217
増減率(%)	△11.6%	△80.9%	△174.3%
(ご参考)前期実績 (平成 17 年 12 月期)	4,247	268	222

(2)修正の理由

当下半期も、SteelEye Technology, Inc.の LifeKeeper の売上等は大幅伸長する見通しですが、Red Hat Enterprise Linux の販売での競争激化等による売上伸長の鈍化、当中間期業績予想が前記の通り前回発表予想を下回る見通しであることから、通期予想を下方修正いたします。

3. 平成 18 年 12 月期連結業績予想について

(1) 平成 18 年 12 月期連結業績予想(平成 18 年1月1日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

売上高	経常利益	当期純利益
5,067	△24	△174

(2)変更の理由

当社は、平成 18 年 6 月 15 日に SteelEye Technology, Inc.を買収し、同社を対象として連結決算を行なうことといたしました。

(3)業績予想について

当期の連結業績予想は、売上高において SteelEye Technology, Inc.の欧米での売上等が寄与し、前年同期の単独決算売上高に対して 19.3%増の 5,067 百万円となる見通しです。また、利益率の高い事業を推

進んでいる SteelEye Technology, Inc.を連結することにより、売上総利益も前年同期の単独決算売上総利益に対して 42.7%増の 1,847 百万円となる見通しです。しかしながら、買収に伴うのれん代の償却等 143 百万円(償却期間 6 年)により、販売費及び一般管理費が大幅に増加するため、経常利益は 24 百万円の損失となる見通しです。当期純利益は、繰延税金資産の取り崩し等により、174 百万円の損失となる見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、当社は11月6日付けで商号を「サイオステクノロジー株式会社」に変更致します。

以上